

交通安全対策

有山 茂議員

問 市道第2-12号線(通称山崎街道)の整備計画は。

答 ビバホーム北側については歩道がない箇所もあるが、今後、未整備区間については用地取得の機会をとらえて対応する。

問 日清製粉の交差点に歩行者用信号機の設置を。

答 東入間警察署を通して、埼玉県警に要望をしていく。

問 市道第5-105号線(大井総合支所に向かう道路)の歩道を含めた整備を。

答 優先度を決めて実施していく。

花の木中学校前の交差点改良

福村光泰議員

問 市道第80号線花の木中学校前交差点改良の今後の予定については。

答 10年以上前からの懸案だったが、交差点改良工事に地権者が概ね前向

きに考えていた。ただることとなったので、道路設計や物件補償調査費及び用地取得と補償費用の補正予算を計上し、予算可決後に測量や道路の線形を決定する。その後、用

地交渉を進め、交差点改良工事を実施したいと考えている。



花の木中学校前の交差点

地域の守りをしっかりと

…安全・安心

詐欺は絶対許さない

堀口修一議員

問 「母さん助けて詐欺」など高齢者が被害者となる犯罪が続いている。情報の共有、各機関との連携は重要。さらに、防止機能のある機器の紹介や、詐欺は絶対許さないという被害防止の啓発は。

答 県警が推奨している「留守番電話作戦」は料金も発生せず、本市でも啓発に努めたい。防犯キャンペーンの中で、詐欺防止の啓発に努めていく。

職員を地域担当制に

田村法子議員

問 自治基本条例からも

必要な施策と考えるが。協働のまちづくりの観点からも重要と考える。職員には、地域行事のイベント等に参加するよう呼びかけている。

地域を守る消防団員の増員強化を

岸川彌生議員

問 地域に消防団のことを知ってもらうことが団員の増員強化につながる。消防団員の方々に町内会行事や自主防災組織活動等に参加・協力をしていた。地域との交流を。

答 消防団の力をより効果的に発揮し、団員を増やして活動を活発にしていくなためにも地域との協

苗間みほの地区の住居表示の実施

西 和彦議員

問 事業実施に向けて検討をしていきたいとのことだったが、その後の進捗状況は。

答 現時点では、具体的な事業実施段階に入っていない。今後、「みほの及び桔梗地区」の限定的な実施方法の研究や組織体制の整備と財源の確保等を含め、引き続き検討

空き家の実態調査と対策強化を

塚越洋一議員

問 空き家増加の実態調査を実施し、町会と連携して対策強化を図るべき。

答 先進地の実態調査方法を研究し検討する。代執行や固定資産税の特例措置については、国の動向を注視し、引き続き検討していく。

空き家の早期発見に向けた連携を

小林憲人議員

問 水道の使用状況がない場合、水道課が現地調査をして福祉部へとつながっている。こういった連携を空き家の実態把握に生かせないか。

答 個人情報保護法に抵触しない範囲で情報収集していきたい。

消防団の名称変更

有山 茂議員

問 消防団の名称変更の経緯は。

答 組織の活性化のための再編。上福岡駅から分団車庫の近い順番に、ふじみ野市消防団第1分団から第10分団と名称を改める。

問 旧市町で、各分団の人員定数に差異があったが。

答 現在では分団の定数は定められておらず、ふじみ野市消防団全体で135名と規定されている。

滝・長宮・松山地域の浸水被害の軽減を

足立志津子議員

問 滝・長宮・松山地域の浸水被害の軽減を。

答 公共下水道雨水整備計画が策定されていないので、一般下水道管の流路を調査し、対応可能な策を検討する。

これからのまちづくりへの提案

…市政

スマートシティの早期導入を

田村法子議員

問 都市戦略であり、システム購入も削減可能となる。企業誘致も、IT関連企業を呼び込む可能性があるため導入を。

答 スマートシティとは、ICTを軸として電気、水、通信、交通、行政サービス等の地域資源を連携・統合して管理すること、無駄のない効率的な都市をつくる都市戦略と認識している。システム統合という点では、外部のITコーディネーターの意見を取り入れ研究中。企業誘致につながる可能性もあり、今後も研究していく。

公共施設にWiFiスポットの設置を

山田敏夫議員

問 市民の利便性や災害時の通信手段として、公共施設にWiFiスポットを設置しては。

答 災害時の通信手段の確保の上からも必要性はあると考えるが、セキュリティの確保など課題もある。設置場所、運用方法などについて調査・研究していきたい。

市民の固定資産税課税問題

新井光男議員

問 土地や家屋など課税誤りの見直しを、全庁的組織で対策を。

答 市において、土地と家屋のデータを突き合わせた結果、住宅用地の特例が適応されず過徴収が3件、75万円、7万円、25万円が判明し訂正とお詫びをした。今後の調査については、来年度予算で検討していく。

市民遺産の発掘・保全と活用

新井光男議員

問 三富新田の世界農業遺産認定申請に連動した取り組み、歴史文化基本構想の策定を。

答 三富新田は、旧亀窪村の農民が開拓の中心となり、平地林の落ち葉を堆肥とする循環型農法の

集団的自衛権容認への見解

塚越洋一議員

問 集団的自衛権容認の閣議決定への見解は。

答 将来の問題として必要があれば、県や周辺自治体と対応。国会の審議を注視していく。

三芳スマートICの大型車導入

伊藤初美議員

問 大型車両利用が可能になった場合、道路整備にかかる財政負担は。

答 フルインター化促進会議で三芳町は、観光バス程度までの通行と説明している。事業が具体化された段階で整備費用負担等の協議に入る予定。

自然を生かした地域活性化を

小林憲人議員

問 建設中である広域ごみ処理施設の管理棟屋上から眺める田んぼは美しい。そして、隣接する余熱利用施設エコーパは一日で約450人の利用がある。この現状を観光的チャンスと捉え、管理棟屋上から眺める田んぼアートを実施してみたい。

答 地権者の協力やエコーパとの連携など、総合的な角度から検討していきたい。

農業振興

有山 茂議員

問 7月に市長と農業者との懇談会が4回実施されたが、今後の展望は。

答 今後もよりよい農業経営の推進ができるように継続し、開催をしたい。

問 野焼きについて伺う。



上福岡七夕まつり

市政10周年 上福岡七夕まつり

福村光泰議員

問 来年の七夕まつりの開催にあたっては、市制施行10周年としての冠事業などは検討されているのか。

答 現在、市としても検討を進めているところだが、七夕まつりも10周年記念事業の一つとしての冠事業を検討している。

答 法令的にはできないが、農業者の稲わら等は焼却ができる。